

在宅および地域社会サービスのための

カリフォルニア州配偶者窮乏対策規則の利用

このファクトシートは在宅介護またはその他の在宅サービス費用を支払うためにメディ・カルからの費用給付を求めるカリフォルニア州居住者に役立つことがあります。メディ・カルは連邦メディケイド制度のカリフォルニア州版で低所得および低資産の個人に医療保険を提供します。メディ・カルはまた在宅介護、家事支援、およびその他の地域社会サービスの費用を給付します (HCBS)。残念ながらメディ・カル受給者の多くは月額費用分担が高額なため利用が困難であり¹、他の人々は資産過剰のため受給資格がありません。

あなたが在宅介護費用の支援を得たいと考えているが所得または資産が高すぎるのではないかと懸念しているときは、下記の「配偶者困窮化保護」が役立つ可能性があります。

「配偶者困窮化保護」とは何か？

配偶者困窮化保護は一方の配偶者が介護ホームでのケア、または「在宅および地域社会介護サービス制度」の対象者となったときに、もう一方の配偶者の困窮化を防止するために作られた規則です。これは一定の既婚者はより寛大な所得および資産制限でメディ・カル受給資格適格者となり資産のすべてを消費せずにサービスを受けることができることを意味します。

配偶者困窮化保護制度の下では、メディ・カル受給者でない配偶者(「良好な状況にある配偶者」)がメディ・カル配偶者の適格性を損なうことなく追加の所得および資産を留保することが可能となります。2022 年現在では良好な状況にある配偶者は、メディ・カル配偶者が留保できる資産額 130,000 ドルに加えて、137,400 ドルの共有財産配偶者資産額(CSRA)の留保を認められています。

例: ジョンとメリーは 2022 年 1 月に 50,000 ドルの預金があります。ジョンはパーキンソン病患者で「在宅および地域社会介護サービス制度」に基づく在宅介護への支払を希望しています。ジョンは直ちにメディ・カルの適格者となれます。配偶者困窮化保護法により、メリーは制限額 137,000 ドル以下なので預金 50,000 ドルの全額を留保できます。

CSRA に加えて、良好な状況にある配偶者は費用分担拠出をすることなく追加所得全額を留保することができます。良好な状況にある配偶者は自己自身のすべての所得を留保し、その所得が 3,435 ドル(2022 年現在の最低月額必要生活費—MMMNA)未満であるときは 3,435 ドルに達するまでメディ・カル受給配偶者から配分を受けることができます

例: ジョンは月額 2,500 ドルの年金を受給します。メリーは月額 500 ドルの年金を受給します。メリーは月 3,435 ドルの最低所得額に達するまで所得を留保できるので、自分の年金 500 ドルを留保するのに加えて所得が 3,000 ドルに達するまでジョン

の所得から月額 2,500 ドルの分配を受けますが、3,435 ドルの限度には達しません。
従ってジョンの費用分担はありません。

在宅および地域社会介護サービス制度とは何ですか？

「在宅および地域社会介護サービス(HCBS)」はときには「メディ・カル権利放棄」と称される介護ホーム代替サービスを提供する制度です。HCBS は介護施設での介護を必要とするが在宅を希望するメディ・カル受益者にサービスおよび支援を組み合わせ提供する制度です。HCBS 制度を通じて提供される便益には下記を含みます: 介護(「個別の介護サービスサービス」)、日常生活および食事作りの支援、保護監視、在宅介護ケース管理、住居修理。HCBS 制度の利用可能性は郡により異なり、また制度が提供するサービスにも差異があります。

カリフォルニア州の HCBS 制度は下記を含みます:

- コミュニティファーストの選択オプション(CFCO) – IHSS 制度の一部
- [複合高齢者サービス制度\(MSSP\)](#)
- [在宅および地域社会サービス放棄の代替\(HCBA\)](#)
- [生活支援放棄\(ALW\)](#)
- [高齢者総合的包括介護制度\(PACE\)](#)
- [地域社会成人サービス\(CBAS\)](#)
- 発達障害者への在宅および地域社会サービス
- 小児および一時緩和介護
- 発達障害者への自律サービス

個別制度の詳細については <https://www.dhcs.ca.gov/services/Pages/Medi-CalWaivers.aspx> をご覧ください。

在宅支援サービス (IHSS) は HCBS 制度ですか？

答えは次の通りです: 加入している IHSS 制度次第です。IHSS には数種の異なった制度があります。大多数の人々は IHSS の地域社会第 1 オプション(CFCO)に加入しており、これは HCBS 制度です。IHSS の CFCO 制度に加入しているときは配偶者困窮化保護の受益資格があります。

IHSS 受益者は郡の医療事務所に電話し CFCO に加入しているか確認できます。CFCO 加入者は「2k」の支援コードがあります。

郡のすべての 14-60 書簡には CFCO 制度の適格条件の説明が記載されています。
www.cdss.ca.gov/lettersnotices/EntRes/getinfo/acl/2014/14-60.pdf

ステップごとの手順説明:

HCBS に支払をして配偶者困窮化保護を

受けるためのメディ・カルへの申請方法

ステップ 1: メディ・カルへの申請

CANHR

1803 SIXTH STREET • BERKELEY, CA 94710

HCBS に支払うためにメディ・カルに申請してあなたのケースに対して配偶者困窮化保護を確実に得るためには、メディ・カルの申請書に HCBS を希望すると記載しなければなりません。一連の申請項目の中で 4 ページの質問「当人は長期介護または在宅および地域社会サービスの支援が必要ですか？」の質問に「はい」と回答します・

メディ・カル事務所および HCBS 制度の職員は拡大した配偶者困窮化保護制度を熟知していないことがあるので、メディ・カル申請書中で「申請者は ACWDL17-25 に記載の在宅および地域社会サービスおよび配偶者困窮化保護を利用するメディ・カルを申請します」明記することを示唆します。

一連の申請項目はここでダウンロードできます：www.dhcs.ca.gov/services/medi-cal/eligibility/Documents/2014_CoveredCA_Applications/ENG-CASingleStreamApp.pdf

ステップ 2: 臨床的基準を満たすことを示します

第二に、HCBS の臨床的適格性を満たすことを確実に示さなければなりません。これは介護施設レベルのケアが必要であることを示さなければならないことを意味します:

- A. HCBS への加入希望を示したとき直ちにメディ・カル事務所に送付する [医師の認証フォーム](#)への記入を医師に依頼します「医師の認証フォーム」も (<https://www.dhcs.ca.gov/formsandpubs/forms/Forms/MC604MDVENG.pdf>) からダウンロードできます。医師がフォームに記入次第、郡のメディ・カル事務所に直接送付しなければなりません。あるいは
- B. HCBS 制度（上記諸制度のひとつ）に連絡し申請手続きを開始します。HCBS 制度はあなたが介護ホームでのケアへの臨床的基準を満たすか否かを決定するために必要性査定を完了します。必要性査定が完了したとき、HCBS 制度の職員は郡のメディ・カル事務所に直接連絡しあなたが加入の臨床基準を満たしていることを認証します。

HCBS 制度加入の最初のステップはあなたの郡を担当する HCBS 提供者に電話をして加入手続きを開始することです。各 HCBS 制度には異なった入会および申請手続きがあります。一部の HCBS 提供者に関する情報は下記で閲覧できます。

1. 多目的高齢者サービス制度 (MSSP): www.aging.ca.gov/ProgramsProviders/MSSP/Contacts/
2. カリフォルニア地域社会移行制度 (CCT): <https://www.dhcs.ca.gov/services/ltc/Documents/List-of-CCT-LOs-April2022.pdf>
3. 高齢者総合介護制度 (PACE): www.canhr.org/factsheets/misc_fs/html/fs_PACE.html (最下部までスクロールします)

すでにメディ・カルに加入しているときは？

すでにメディ・カルに加入しているが現在上記の HCBS 制度の一つに入っていないときでも、HCBS 提供者に連絡し申込を開始できます。いったん HCBS 申請手続きを開始し、(HCBS の必要性査定の記入、または医師による認証フォームへの記入により)HCBS の臨床的適格性を満たしていることを示すと、あなたのケースに配偶者困窮化保護を適用することが義務付けられます。

あなたがすでにメディ・カルに加入していて、さらに上記の HCBS 制度の一つにも加入しているときは、2014 年 1 月 1 日に遡及して配偶者困窮化保護の適用資格があります。配偶者困窮化

保護の遡及適用資格があると考えるときは、(800) 474-1116 の CANHR に電話し支援活動者と話してください。

希望する HCBS 制度が順番待ちとなっているときは？

配偶者困窮化保護は、順番待ちの HCBS 申請者にも適用されます。

例、ジョンとメリーは家に居住しジョンはパーキンソン病に罹っています。ジョンには多くの介護が必要ですができるだけ長くメリーと家に留まりたいと望んでいます。ジョンは月 2,500 ドルの年金を受けています。メリーの年金は月 500 ドルです。二人には 50,000 ドルの預金があります。

ジョンは配偶者困窮化保護に基づきメディ・カルに申請します。かれは医師に依頼して医師の認証フォームを提出し、次に郡を担当している多目的高齢者サービス制度(MSSP)に電話をして加入します。

運悪く、ジョンの郡の MSSP 制度は順番待ちの状況です。ジョンは MSSP の順番待ちリストにあるものの、配偶者困窮化保護に基づくメディ・カルに加入する資格があります。かれはいったん加入すると必要な医療ケアを享受することができ、あるいは追加して在宅および地域社会サービス制度に加入することができます。例えば、今やメディ・カルの利便を利用して IHSS に申込み費用分担なしで在宅介護を受けることができます。